

LEM ツール バージョン 8.0.3 更新記録

2015/04/11
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>

1. LEM から CSV へ変換

メニュー[LEM から変換]-[LEM から CSV へ変換]で、CSV ファイルがダイアログで指定したフォルダに作成されず、インストールフォルダに作成される問題を修正しました。

2. CSV ファイルを LEM へ変換(近傍)

メニュー[LEM へ変換]-[CSV ファイルを LEM へ変換(近傍)]に、最も高い Z 値を参照するオプションを追加しました。

CSVをLEMへ変換(近傍)

ポイントファイル(.csv .txt .sim)入力フォルダ

選択...

入力ファイル

CSVファイル(.csv)

テキストファイル(.txt)

テキストファイル(.dat)

SIMA共通フォーマット(.sim)

座標値の列

X(測量座標) 3 C

Y(測量座標) 2 B

標高値(m) 4 D

その他

一行目はヘッダ

座標の平行移動

測量X 数学Y 南北方向 単位はメートル

0.0

測量Y 数学X 東西方向 単位はメートル

0.0

標高 単位はメートル

0.0

周辺のポイントから採るZ値

最も低いZ値

最も高いZ値

平面直角座標系番号

2福岡県 佐賀県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県

保存するlemのグリッド間隔

0.5m 1m 2m 5m 10m

保存するlemに記録する情報

測量年 2014

修正年 2014

図郭別.lemと.csv出力フォルダ

選択...

OK キャンセル 設定を保存 設定を開く

周辺のポイントから採る Z 値

lem のグリッド点の近くのポイントから、範囲内で最も低い Z の点を参照するか、最も高い Z 値の点を参照するかを指定します。作成する lem が DEM(Digital Elevation Model)を想定する場合、最も低い Z 値を、DSM(Digital Surface Model)の場合、最も高い Z の点を参照することになります。

最初に、元データの全点の XY 座標の範囲から、作成する.lem ファイルの候補を特定し、元データの各点について次

のような処理を行います。

- ① 元データの点の XYZ 座標を「座標の平行移動」で指定され値だけ移動、X'Y'Z'とします
- ② 移動した X'Y'座標から、最も近い 1em のグリッドの点を特定。
- ③ グリッドの点の Z 値が未設定の場合は、移動した点の Z'値をセット。
- ④ グリッドの点の Z 値が既に設定されている場合、移動した点の Z'値が低ければ(高ければ)、移動した点の Z'値に更新。

つまり、1em のグリッドの点を中心とした矩形内にある元データの点のうち、最も低い(高い)Z 値を採用することになります。レーザによる計測で、まだフィルタリングされていない状態で、粗くても、早く DEM(DSM)に近いデータを得るための機能として作成しました。

3. 図郭線を表示

新メニュー[表示]-[図郭線を表示]を追加しました。

開いている地形データについて、それを囲む図郭線を表示します。データがどの図郭に関係しているかを確認するための機能です。



図郭の矩形を表示する標高値（メートル）

図郭線の矩形を表示する標高値を指定します。

表示先

図郭名をチェックリストあるいは確認リストにリストアップします。

